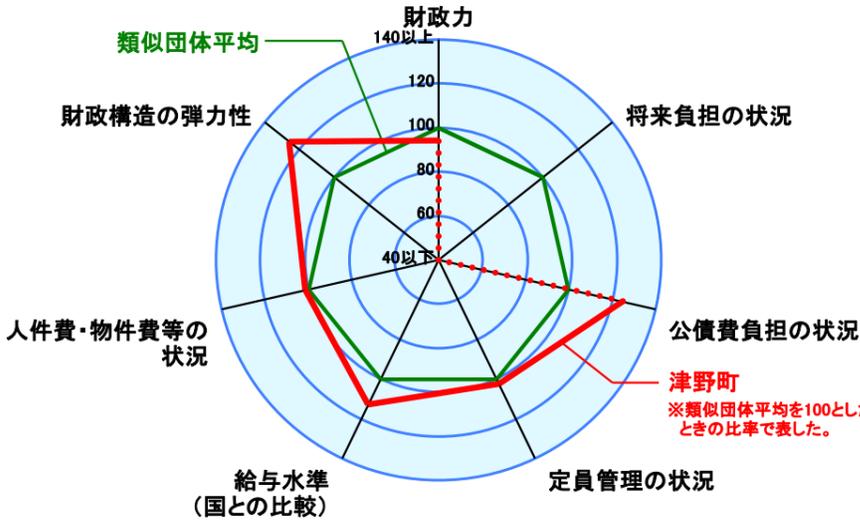
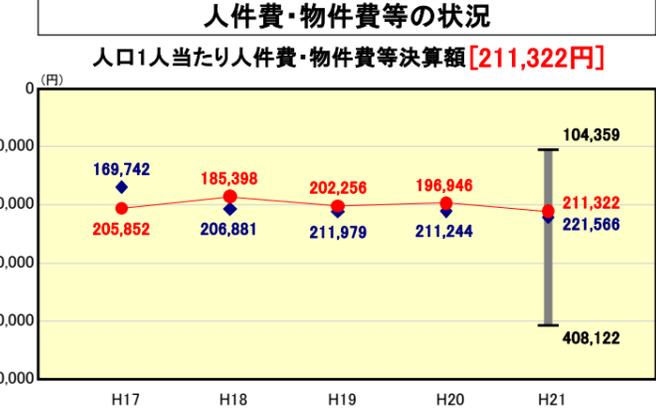
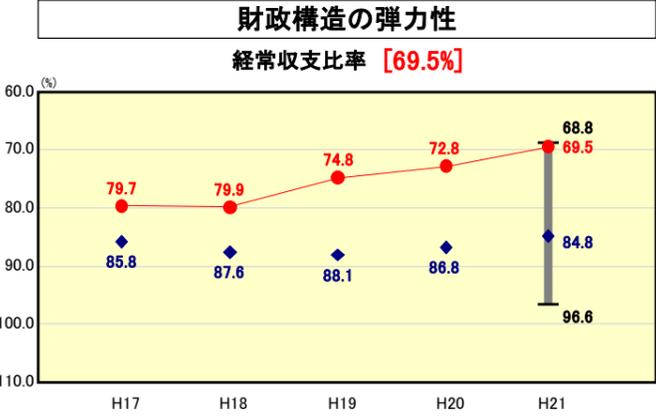
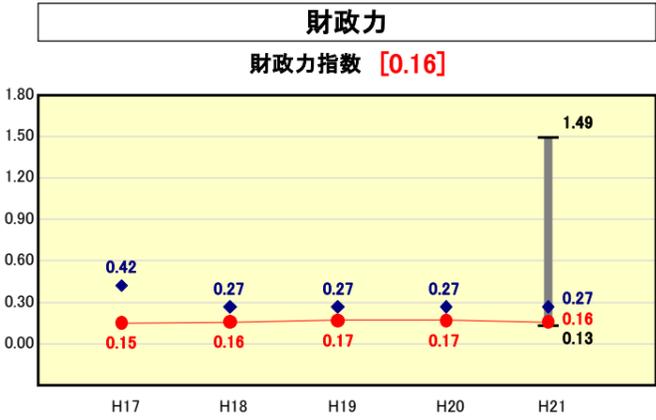


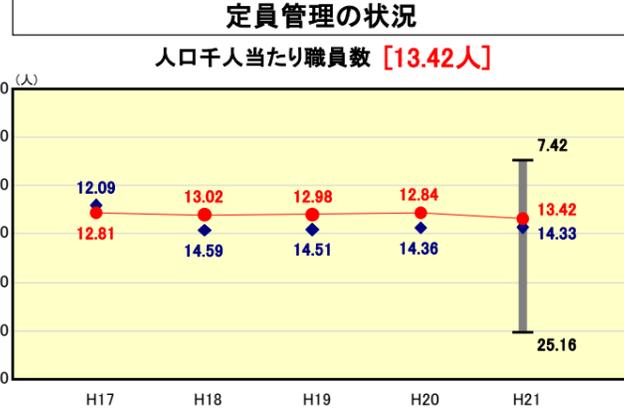
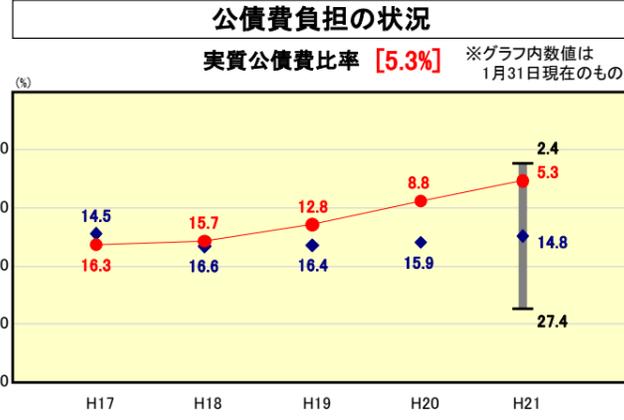
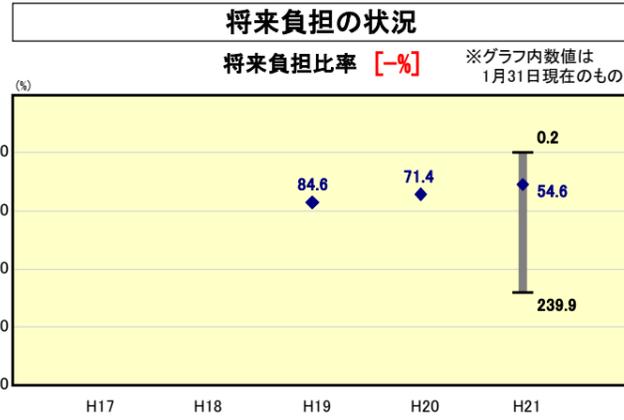
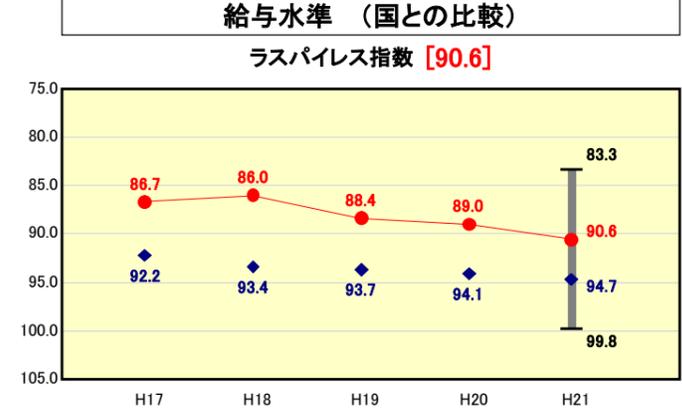
市町村財政比較分析表(平成21年度普通会計決算)

● 当該団体値
◆ 類似団体内平均値
T 類似団体内の最大値及び最小値

人口	6,782	人(H22.3.31現在)
面積	197.98	km ²
標準財政規模	3,766,052	千円
歳入総額	7,367,436	千円
歳出総額	7,236,430	千円
実質収支	105,491	千円



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。
 ※平成21年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。
 ※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。
 ※類似団体内平均値は、充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体を含めた加重平均であるため、最小値を下回ることがある。



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし 人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

【財政力指数】
津野町は高知県の中西部に位置し、昭和35年に13,249人いた人口が平成17年度には、6,862人と45年間で約半数となった。典型的な過疎地域で大規模な事業所もなく自主財源の乏しい状況が続いている。平成17年2月1日に市町村合併をし、退職者の不補充、公債費の繰上償還を行い、財政の健全化に努めている。

【経常収支比率】
市町村合併時の平成16年度は、90.5と類似団体より若干オーバーしていたものの、退職者の不補充、公債費の繰上償還等により年々改善され、平成21年度は69.5と健全エリアを維持している結果となった。今後も計画的な財政運営に努めていく。

【実質公債費率】
市町村合併以降、平成17年度から平成21年度にかけて約26億4千万円の繰上償還を行うことにより、年々改善され、平成21年度は5.3と健全エリアを維持している結果となった。今後も地方債発行と償還額のバランスを図っていくとともに、計画的な繰上償還を実施していく。

【将来負担比率】
市町村合併以降、平成17年度から平成21年度にかけて約26億4千万円の繰上償還や、計画的な基金積立等により、将来負担を軽減することができている。今後も、計画的な繰上償還等により将来負担を軽減していくことに努める。

【ラスパイレス指数】
類似団体の平均94.7より4.1ポイント低い状況である。今後も、給与水準の適正化を継続していくことに努める。

【人口1,000人当たり職員数】
類似団体とほぼ同じである。今後も組織の見直し等により適正な職員数を維持していくことに努める。

【人口1人当たり人件費・物件費等決算額】
類似団体とほぼ同じ決算額である。今後も行財政計画の見直し等により、事務事業の効率化に努める。